

Invitation to Feb 24th Seminar

ラウンドテーブル

「トランプ政権の『反国際主義』に 対峙する『グローバルな南部』」

講演者：武内 宏樹(たけうち ひろき)先生

ワシントン日本商工会(JCAW)は、サザンメソジスト大学准教授、博士(政治学)である武内宏樹先生を招き、研修会を開催します。

米国は、常に移民を受け入れ、新しい産業を生み、知を構築し、国の発展が図られていたのであり、本来自由貿易と移民というのは直接関係のない問題であるが、トランプ氏は「移民反対＝自由貿易反対」という構図を作り上げ、さらには「移民＝テロリスト」という虚構もあおり立てることで、「反国際主義」を「排外主義」と「人種差別」にまでエスカレートさせてしまった。一方、選挙後は、グローバリゼーションの恩恵を受けている人々の「怒り」が噴き出している。とりわけ、製造業の国際分業に組み込まれて雇用が増えている米国南部では、北米自由貿易協定(NAFTA)物流の「扇の要」であるダラスをはじめ、ヒューストン、アトランタといった大都市を中心に、トランプ氏が選挙公約にうたった保護主義政策に対する不安と不満が高まっている。

武内先生から共和党の牙城である南部が抱えるトランプ政権への矛盾について、テキサス州に拠点を構える視点での興味深いお話が伺えるものと思います。

当日は 12:00 頃から昼食をとりながらのネットワーキングの機会を設け、ラウンドテーブルは 12:15 から開始いたします。
多数の方々のご参加をお待ちしております。

略歴

1973 年生れ。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)博士課程修了、博士(政治学)。UCLA 政治学部講師、スタンフォード大学公共政策プログラム講師を経て、2008 年より SMU アシスタント・プロフェッサーを務め、2014 年より現職。2016 年より、関西学院大学交換准教授も兼任。著書に『党国体制の現在—変容する社会と中国共産党の適応』(共編著、慶應義塾大学出版会、2012 年)、Tax Reform in Rural China: Revenue, Resistance, Authoritarian Rule (ケンブリッジ大学出版会、2014 年)国際政治学会誌などに英語論文を掲載。また、『公研』や Foresight に日本語論考も掲載。専門は、中国政治、日本政治、東アジアの国際関係及び政治経済学。



講演者



武内 宏樹 先生

サザンメソジスト大学(Southern Methodist University)政治学部准教授、同大学タワーセンター政治学研究所サン・アンド・スター日本・東アジアプログラム部長

日時:

2017 年 2 月 24 日(金) *昼食付
午後 12 時～午後 1 時 30 分
(12:15 講演開始)

使用言語:

日本語

会場:

Mitsubishi Heavy Industries
America, Inc.
1025 Connecticut Avenue, N.W.,
Suite 1208
Washington, D.C. 20036

会費:

無料(JCAW 会員のみ)

*非会員の方は \$ 10

申し込み:

オンライン www.jcaw.org

定員 30 名

2 月 21 日(火)午後 3 時締切

お問い合わせ:

JCAW Office

Phone: 202-463-3947